

## 会 議 録

会 議 の 名 称	令和6年度第1回所沢市上下水道事業運営審議会
開 催 日 時	令和6年4月23日（火） 午前10時00分から11時30分まで
開 催 場 所	上下水道局庁舎3階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	越阪部 眞、小澤 峰子、金子 修三、北野 大、小西 綾子、 永井 儀男、本田 静香（50音順）
欠 席 者 の 氏 名	西村めぐみ
議 題	（1）第2次所沢市下水道事業経営計画の策定について （2）所沢市水道事業経営計画の改定について （3）その他
会 議 資 料	令和6年度 第1回所沢市上下水道事業運営審議会次第 令和6年度 所沢市上下水道事業運営審議会委員名簿 令和6年度 第1回所沢市上下水道事業運営審議会席次表 資料1 第2次所沢市下水道事業経営計画の策定について 資料2 所沢市水道事業経営計画の改定について 資料3 令和6年度所沢市上下水道事業運営審議会スケジュール 参考資料 所沢市水道ビジョン 所沢市水道事業経営計画
担 当 部 課 名	上下水道事業管理者 鈴木 哲也 上下水道局長 仲 正之 上下水道局次長 根岸 清 上下水道局下水道維持担当参事 加藤 孝雄 上下水道局総務課長 中澤 宏和 上下水道局経営課長 草薨 秀夫 上下水道局窓口サービス課長 粕谷 明彦 上下水道局水道建設課長 古澤 祐晴 上下水道局給水管理課長 坂野 浩明 上下水道局下水道整備課長 村上 和雄 上下水道局下水道維持課副主幹 新井 伸二 上下水道局下水道維持課主査 鹿島 義則 （事務局） 上下水道局経営課主査 向井 達哉 上下水道局経営課主査 越阪部 那佳子 上下水道局経営課主任 水原 史貴 上下水道局経営課主事 久保 未来音 上下水道局経営課主事 中村 桃子 上下水道局経営課主事 清水 美希  電話 04（2921）1087

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>1. 開会（事務局により進行）</p> <p>2. あいさつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開会あいさつ（会長）</li> <li>・上下水道局職員自己紹介</li> <li>・会議資料の確認</li> <li>・出席状況の確認・会議の成立の報告</li> <li>・諮問書の受け渡し</li> </ul> <p>3. 議事の手続き（会長により進行）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より以下3点について説明               <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）会議の公開：原則公開</li> <li>（2）会議録の作成方法：委員名記載の要約方式 (公開時は委員名を記載せず「委員」とする)</li> <li>（3）会議録の確定方法：会長の確認・署名により確定</li> </ul> </li> <li>・傍聴希望者の確認（希望者0名）</li> </ul> <p>4. 議事（会長により進行）</p>
会長	<p>議事（1）について説明していただきたい。</p>
経営課主任	<p>※資料1に基づき、第2次所沢市下水道事業経営計画の策定について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）今後の事業環境と課題</li> <li>（2）課題解決に向けた施策</li> <li>（3）経営の基本方針について</li> </ul> <p>（以下、質疑応答）</p>
委員	<p>資料1の17ページについて、今後15年かけて、今現在、耐用年数を超えた管路約150kmのうち、約3分の1である約49kmについて修繕が必要なので改築していくとのことだが、耐用年数を迎えた管が、今後増えていくと思われる。将来の改築量の増加見込みはどのようにお見込みか。</p>
下水道維持担当 参事	<p>ストックマネジメントの中で管路のカメラ調査等を行うことになっており、5年に1度、管路の経年劣化の集計をし、改築量を積み上げていく予定になっている。今の時点では、今後の改築量の増加見込みを判断できるものではない。</p>

委員	<p>令和7年度以降に改築量を年々増やしていく計画の中で、新たに増える耐用年数を迎えた管路の修繕を賄えるということで良いか。</p>
下水道維持担当 参事	<p>17ページの資料にある約49kmについては、現状、修繕しなくてはならない距離なので、今後増えていく修繕しなくてはならない管路に関しては含まれていない。</p>
委員	<p>17ページの資料にある計画のとおり2,600m、3,500mと年々改築管路を増やしていけば、現状、修繕しなくてはいけない約49kmに加えて、新たに増える耐用年数を迎えた管路の修繕を賄えるということで良いか。</p>
下水道維持担当 参事	<p>17ページの資料で示している改築管路延長距離については、今後、カメラ調査で判明する老朽化対策が必要な管路の距離は含まれていないため、今後検討していく。</p>
委員	<p>修繕・改築計画期間中の15年間に新たに増える耐用年数を迎えた管路については、5年ごとにカメラ調査を行い確認していくということによろしいか。</p>
下水道維持担当 参事	<p>下水道のストックマネジメントは毎年カメラ調査を行い、修繕の必要がなければ耐用年数を迎えた管路であっても使っていくという考えである。耐用年数を迎えたからといって、管路をすべて取り換えるという考えではない。5年ごとに改築計画を見直し、老朽化対策の検討をしていくことになる。</p>
下水道整備課長	<p>平成9年以降は、耐震性が高く、老朽化が進展しにくい塩化ビニル管を布設しているので、耐用年数を迎えた管路が増大するからといって莫大に改築量が増えていくとは考えていない。</p>
会長	<p>(質疑応答はここまで) 続いて、議題(2)について説明していただきたい。</p>
経営課主査	<p>※資料2に基づき、所沢市水道事業経営計画の改定について説明。  (1) 所沢市の水道事業  (2) 計画の改定  (3) 改定に向けて考慮する主な事項  (4) 今後の審議</p>

<p>委員</p>	<p>(以下、質疑応答)</p> <p>一番の課題は19・20ページの部分だと思う。</p> <p>所沢市の場合、給水人口は計画値よりも減っていない上に、給水世帯が増えているにも関わらず、料金収入が極端に落ち込んできていることが大きな課題だと思う。</p> <p>19ページにあるように、給水人口と有収水量が計画値を上回っているにも関わらず、料金収入は計画値を下回っている。</p> <p>また、20ページにあるように、一般家庭についてはほとんどが給水原価を下回り赤字となっていることが大きな課題であり、料金体系自体を見直していかなければならないと思う。</p> <p>計画策定時の審議では、令和8年度から2割ほどの値上げで健全経営を維持できると思っていたが、現在の状況からすると、2割を上回る値上げをしなければ健全経営にはならないのではないかと。</p>
<p>経営課長</p>	<p>ご指摘のとおりである。現在の状況が続くと料金収入がさらに減ることが見込まれる。令和8年に計画を改定する際には、併せて料金体系を見直し、有収水量が減っていく中でも料金収入が減らないような料金体系を改めて検討していく。料金体系を見直すことで、改定後の料金収入の減少幅が大きく変わってくるので、今後の審議会で様々なシミュレーションを委員の皆様に見ていただきながら、料金改定の審議をさせていただきたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>有収水量の予測については、人口減少の見込みと核家族化の要素が挙げられると思うが、どのように勘案されているのか。</p>
<p>経営課長</p>	<p>現在の料金体系は平成10年に設定されたもので、当時は人口が増えていく見込みかつ節水を誘導する考えで現行の料金体系となった。</p> <p>現在の人口は頭打ちとなっている状況の中で、核家族化、つまり1世帯当たりの人口が減ったことで、世帯数は増えても単価的に給水原価を下回り赤字になってしまう世帯が増えていることが現状の料金体系の課題だと認識している。当時は人口の増加により、節水を促しながらも、料金収入は計画上、想定を上回るものであったので、平成10年以降料金改定を行わなかったと考えている。ただ、現状、料金体系が合わなくなってきたところなので、改定を行いたいと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>核家族化すると1人あたりの水の使用量が基本的に増える一方で、人口が減少していくことも考えねばならない。有収水量をどう見込むかが基本になってくると考えているので、次回以降、こういった仮定に基づいて試算したのかを教えてください。</p>

委員	<p>工業用水の使用量が落ち込んでいることや、水を使用しない物流倉庫の増加が料金収入減少の原因に挙げられるのではないかと分析したうえで、料金体系の見直しをしていくべきだと思ふ。</p>
委員	<p>有収水量は家庭ばかりではなく、企業の使用量等の様々な要素を基に見込まれるものである。先ほども述べたように、有収水量の見込みが料金収入及び料金改定を考えるうえで基本になってくるので、有収水量の見込みについて、どういった仮定に基づいて試算したのか次回までに教えていただきたい。</p>
委員	<p>一般家庭では節水を行っているが、今後、どうしていけば良いのか。</p>
経営課長	<p>環境面を含めて、節水は進めていただくべきものではあるが、料金収入で施設を維持しているので、今後、施設を維持するためには、ある程度費用を負担していただく必要があると考えている。市として有収水量は増えていくことはないと思込んでいるため、有収水量が減少していく中でも、施設を維持していくための費用を積算したうえで、市民の方々にご負担いただくような形で料金改定をしなければならないと考えている。</p>
委員	<p>市全体で考えるべきことだが、水は生活必需品なので、全て受益者負担とするのかということを生計困窮者に対するフォローを含めて考えていく必要がある。</p>
会長	<p>(質疑応答はここまで)      続いて、議事(3)について説明していただきたい。</p>
経営課長	<p>※資料3に基づき、令和6年度所沢市上下水道事業運営審議会スケジュール(案)について説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回(第2回)の審議会 5月23日(木)             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2次所沢市下水道事業経営計画の策定について</li> <li>(2) 所沢市水道事業経営計画の改定について</li> </ul> </li> <li>・第3回の審議会 7月24日(水)             <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 第2次所沢市下水道事業経営計画の策定について</li> <li>(2) 所沢市水道事業経営計画の改定について</li> <li>(3) 第2次市街化調整区域下水道整備計画の受益者負担金に係る単位負担金額の設定について</li> </ul> </li> </ul> <p>(以上について、質疑なし)</p>
会長	<p>予定した議事は以上となるが、他に何かあるか。</p>

会長	本日の議事は全て終了したので、進行を事務局にお返りする。
副会長	5. 閉会（事務局により進行） 閉会挨拶